

## 20年以上にわたり 台湾で愛されている薬酒『養命酒』

養命酒製造株式会社は1990年から20年以上にわたり台湾で養命酒の販売を続けている。2016年には日商養命酒股份有限公司として駐在員事務所も開設し、台湾でのビジネス拡大に向けて台湾の文化や習慣などの調査を進めている。今回は、養命酒製造株式会社の台湾での事業内容について台湾辦事處の森脇代表者を訪ねお話を伺った。



日商養命酒股份有限公司 森脇久之代表

### 台湾で事業を始めた経緯

養命酒は1602年に創製された薬酒で、以来400年以上に渡って製造販売を続けてきました。1923年に全国販売に向けて会社組織として、1951年から養命酒製造株式会社としています。養命酒は自然の生薬の薬効成分が溶け込んだ薬酒で、毎日の暮らしの中で少しずつ飲んでいただき、体を本来の健康に導くものです。経営理念としても「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」を掲げ、その実現に向けて国内にとどまらず、海外でも長年にわたり養命酒を販売してきました。海外展開を最初に始めたのは香港で、1960年代に輸出を始めています。その後、マレーシアとシンガポールには1970年代に販売を開始しています。台湾では1990年から輸出を開始しており、25年以上になります。当初はお酒として輸出をしていましたが、2001年に乙類成薬の認可を取得し、以降は医薬品として輸出・販売を行っています。海外展開を始めた経緯としては華僑の代理店からのアプローチをきっかけとするケースが多いように思います。もともと華僑圏では、自宅で薬酒を作る文化がありました。自ら生薬を買ってきてお酒につけこんで飲むという文化です。食事でも漢方を

取り入れた食習慣があり、養命酒を販売するための土台がありました。

基本的に海外は輸入代理店を通したビジネスを行って来ており、現地でのマーケティングを強化する目的で、2016年4月に台湾駐在員事務所を開設しました。台湾でのビジネスは海外の中ではまだ短いのですが、それでも養命酒を飲んでいただいている量がまだまだ少ないということ、台湾は人口が多く親日といった環境もあるためさらに拡大の機会があると考えています。今は販売代理店、広告代理店などと協力しながら台湾現地に根付いたマーケティング、販売を模索しています。

### 台湾での活動について

台湾での活動としては、台湾の消費者がどういう風な生活をしているのか、どういう風な生活習慣を持っているのかなど調査・情報収集をすることをメインとしています。実際に台湾に来てまず感じたことは、消費者がアルコールに抵抗をもっているようにみえたことです。特に女性の年配の方に抵抗がある方が多かったので意外でした。ほかには薬に対する規

## 日本企業から見た台湾

制やお酒に対する規制も厳しく設定されているため、商品説明や広告の出し方などなかなかこちらの意図したことができないということもわかってきました。例えばお酒として輸出していた時期は薬ではないため効果効能について広告でアピールすることはできませんでした。医薬品としての許可を取つてからは効果効能をいうことができるようになりましたが、広告ではすべて事前審査が必要で、認可された効果効能しか広告できないといったことがあります。

台湾の消費者を調べる中でわかってきたこともあります。養命酒は1日のうち、食前と就寝前で3回飲む方法が最も効果があるといわれています。台湾では冬の冷え症に悩んでいる女性の方が多く見られたため、就寝前に体を温めることや冷え症の解消という訴求をすることで、60歳以上だけでなく30代や40代の女性にも飲んでもらえるようになってきました。もともと寒いときに薬酒を飲むという習慣があったため、プロモーションでうまく浸透しました。次に夏場にどのように飲んで頂くかという点が課題となり、胃腸虚弱への対策としてプロモーションを進めています。このように台湾現地の消費者に寄り添いながらプロモーションを日々考えています。

小売企業様と一緒に何か取り組みができないかという情報交換も進めています。ただ、日本でよく行われている小売様とメーカーと一緒に需要を掘り起こすような取り組みはまだ台湾では実現できていないため、これからの課題をして取り組んでいきたいと考えています。

他に取り組みとして力を入れているのは健康セミナーです。医師などを講師に招いた健康についてのセミナーに対して協賛をしています。銀行などのサービスの一環や、地区ごとのお年寄りのコミュニティで話をするというものです。体操をしたりご飯を食べたりする養老院のようなところがあるのですが、そこで講師に話をさせて頂いています。台湾の方は健康に対しては非常に興味関心が高いため参加していただける方は多いですし、直に消費者の方が見えるため、こういった取り組みは重視していきたいと思っています。

台湾での養命酒の知名度は90%以上と高いのですが、購入いただける割合は低い状況です。養命酒の効果・効能やいつ飲むのかなどの情報はまだ伝わっていないと感じています。名前だけは知って頂けていますが中身について知らないという方が多いため、これからは直接コミュニケーションをとることも必要になってくるのではないかと考えています。台湾では口コミの効果も大きいいため、さらに利用者を広げていくための方法を考えていきたいと思っています。

ありがとうございました。

### 日商養命酒股份有限公司の基本データ

会社名	日商養命酒股份有限公司
代表者	森脇 久之
設立	2016年
事業内容	(1)薬用養命酒の拡売サポート業務 (2)市場調査、情報収集

注)2019年1月の情報による  
出所)公開資料及びヒアリングよりNRI整理